

2025年01月 イーアイデム会員対象アンケート結果

TOPICS

「闇バイト」の認知度は92.8%

株式会社アイデム
東日本事業本部 データリサーチチーム

調査名

- 【イーアイデム会員限定】お仕事探しに関するアンケート

調査目的

- 現在の求職者の状況を把握し、今後のサービス向上・商品開発につなげる

調査対象

- 総合求人サイト「イーアイデム」の会員で、2025/01/01～2025/01/31の期間にイーアイデムから何らかの求人に応募した人

調査期間

- 2025/01/02～2025/02/05（35日間）

調査方法

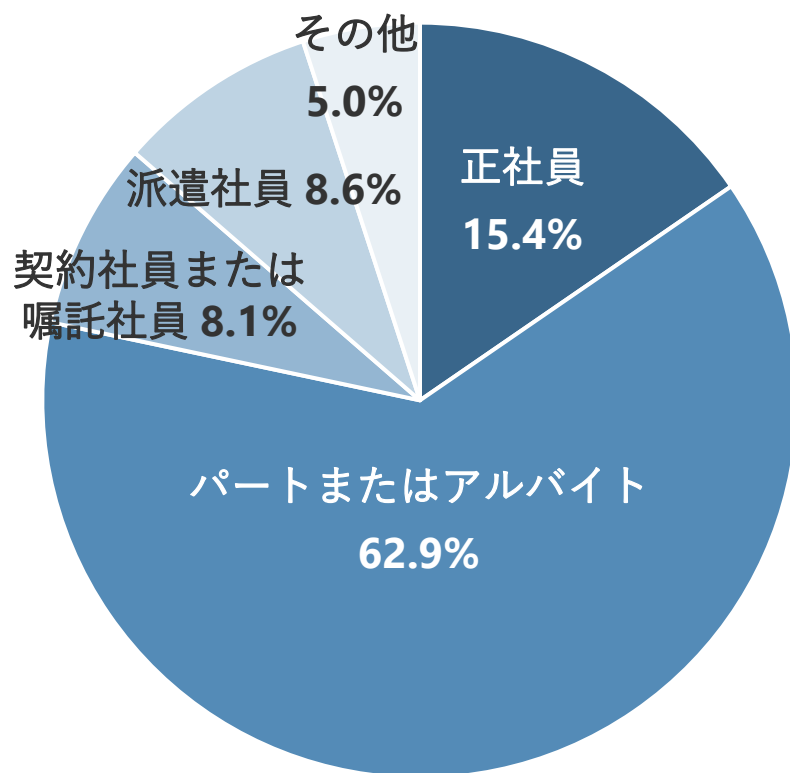
- インターネットリサーチ

有効回答数

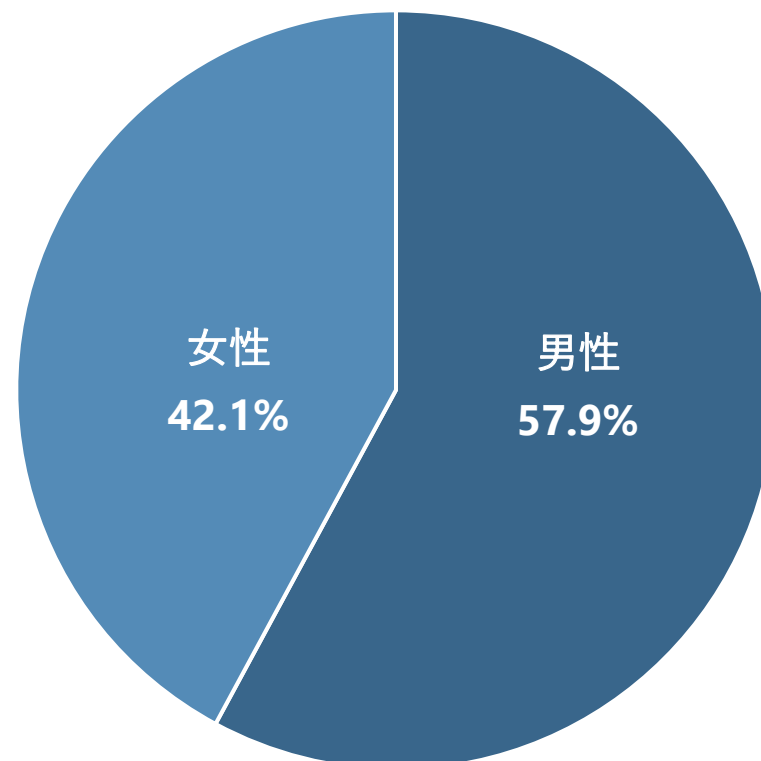
- 558件

※調査結果は四捨五入のために合計が100%にならない場合があります

希望する雇用形態

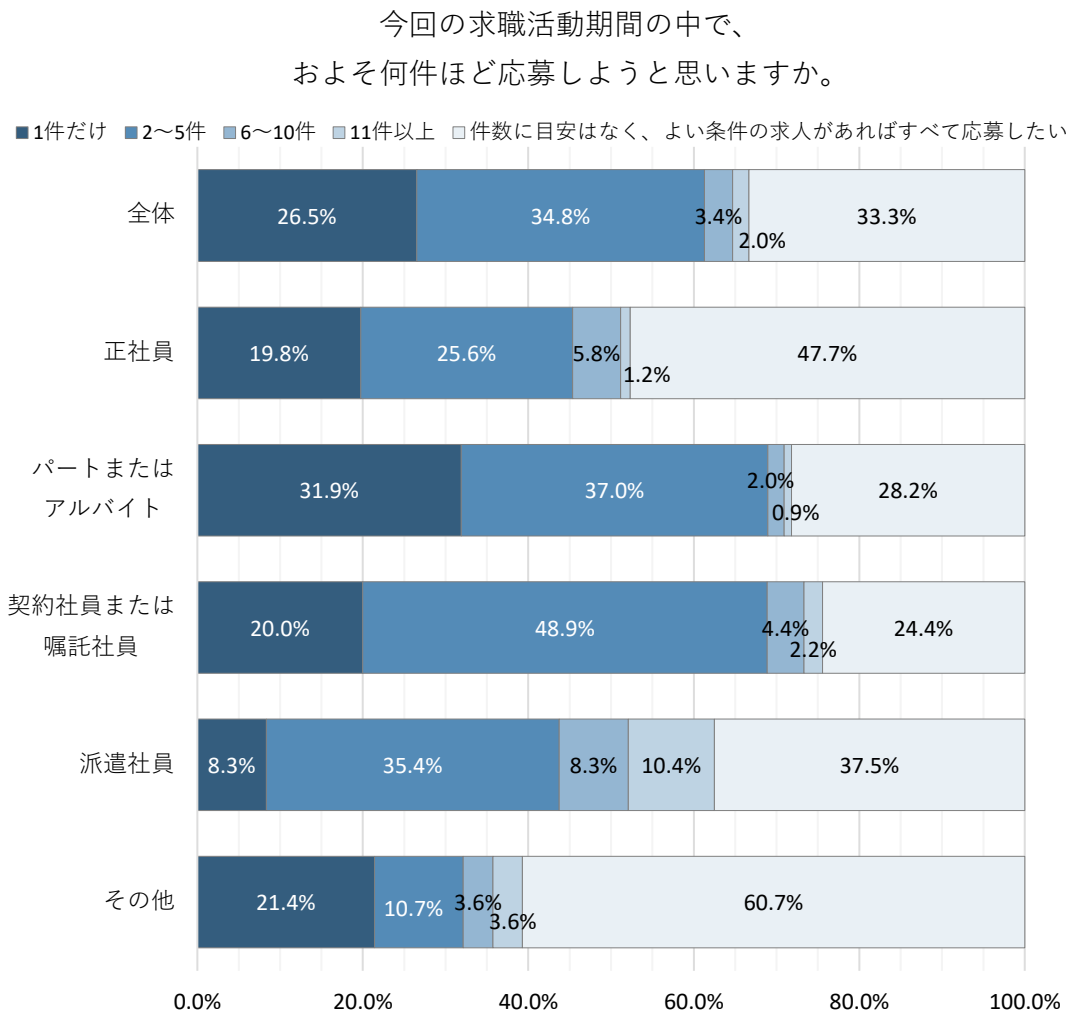


性別



イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、今回の求職活動期間の中で、求人に応募する件数の目安があるかどうかきいた。全体では、「2～5件」が最も多く34.8%、次いで「件数に目安はなく、よい条件があればすべて応募したい」が33.3%、「1件だけ」が26.5%、「6～10件」が3.4%、「11件以上」が2.0%となった。「1件だけ」以外を選んだ割合は全体の7割強となった。

希望雇用形態別にみると、「パートまたはアルバイト」では「2～5件」応募するとした割合が37.0%、「1件だけ」が31.9%となった。応募件数に目安を設けて活動している人が多いようだ。また、「正社員」では「件数に目安はなく、よい条件の求人があればすべて応募したい」が47.7%で、約半数だった。



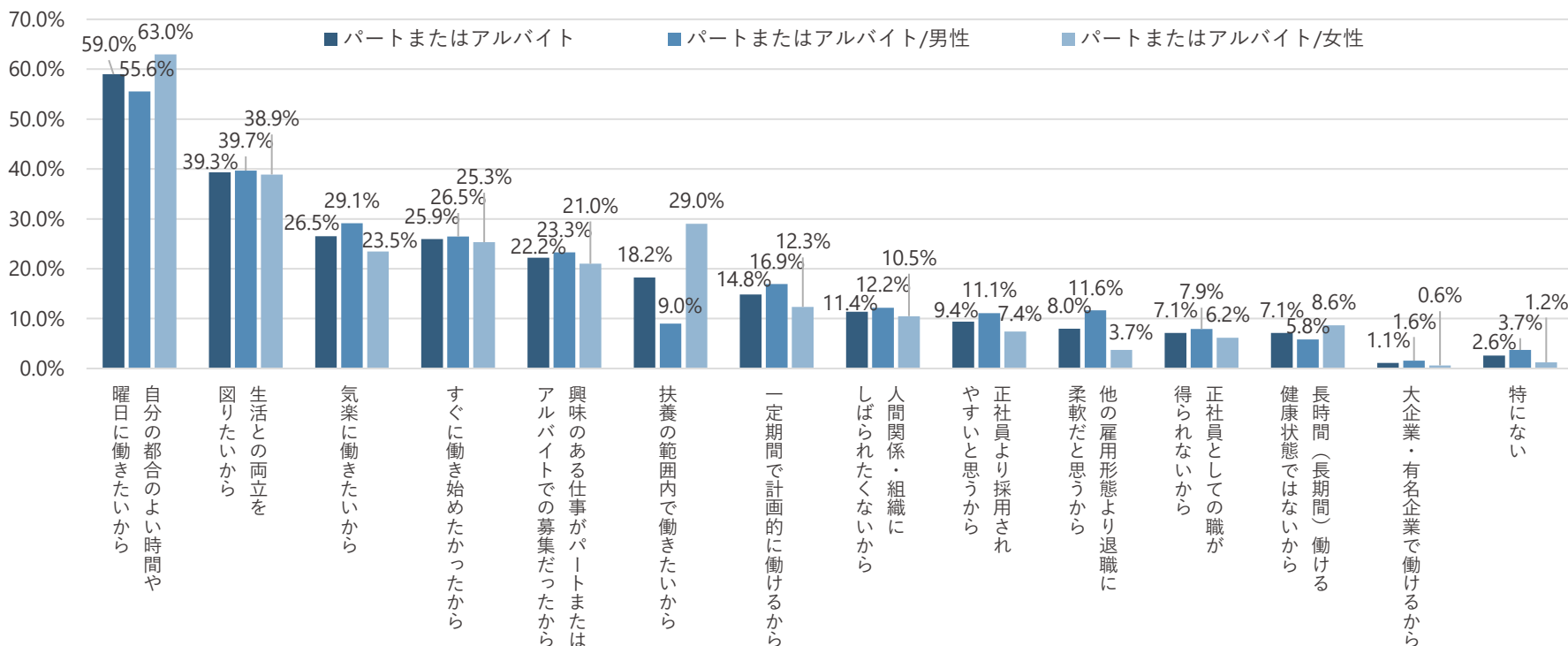
パート・アルバイトを希望する理由

イーアイデムに掲載された求人に応募した、パートまたはアルバイトを希望する人に、なぜその雇用形態を希望するのかをきいた（複数回答）。最も多かったのは「自分の都合のよい時間や曜日に働きたいから」で59.0%、次いで「生活との両立を図りたいから」が39.3%、「気楽に働きたいから」が26.5%となった。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「他の雇用形態より退職に柔軟だと思ふから」が7.9pt、「気楽に働きたいから」が5.6pt高くなった。無理のない範囲で、自身に合った働き方を望む人が一定数いることがわかる。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「扶養の範囲内で働きたいから」が20.0pt、「自分の都合のよい時間や曜日に働きたいから」が7.4pt高くなった。ほかの活動との両立のために働く時間を決めて動いたり、収入に目安を設けたりして仕事をしたい人が男性よりも多いと考えられる。

パートまたはアルバイトを希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。

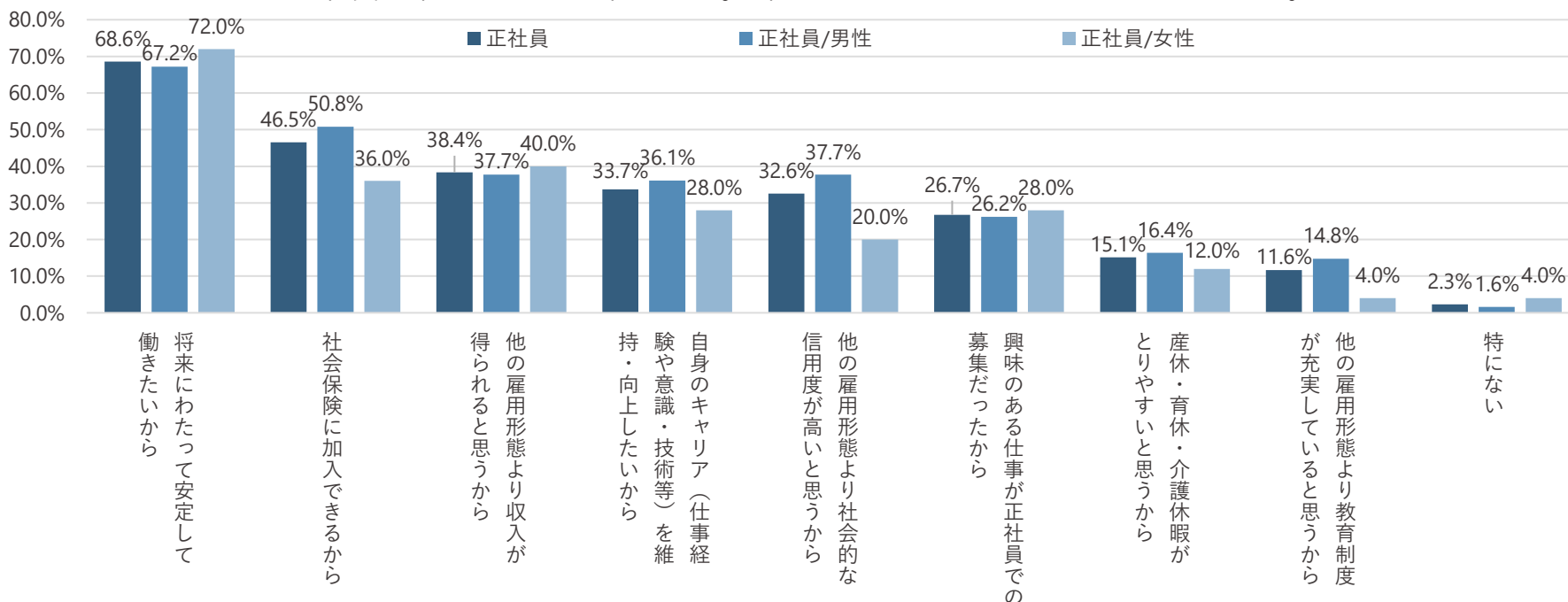


イーアイデムに掲載された求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、なぜ正社員を希望するのかをきいた（複数回答）。最も多かったのは「将来にわたって安定して働きたいから」が68.6%、次いで「社会保険に加入できるから」が46.5%、「他の雇用形態より収入が得られると思うから」が38.4%となっている。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「他の雇用形態より社会的な信用度が高いと思うから」が17.7pt、「社会保険に加入できるから」が14.8pt、「他の雇用形態より教育制度が充実していると思うから」が10.8pt高くなった。正社員での就職で、保障や信用、教育をうける機会が獲得できると考える人が女性より高い割合となった。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「将来にわたって安定して働きたいから」が4.8pt高くなった。とくに安定に重きを置いている割合が高く、女性正社員希望者の7割は継続した雇用を意識して正社員を希望しているようだ。

正社員を希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。

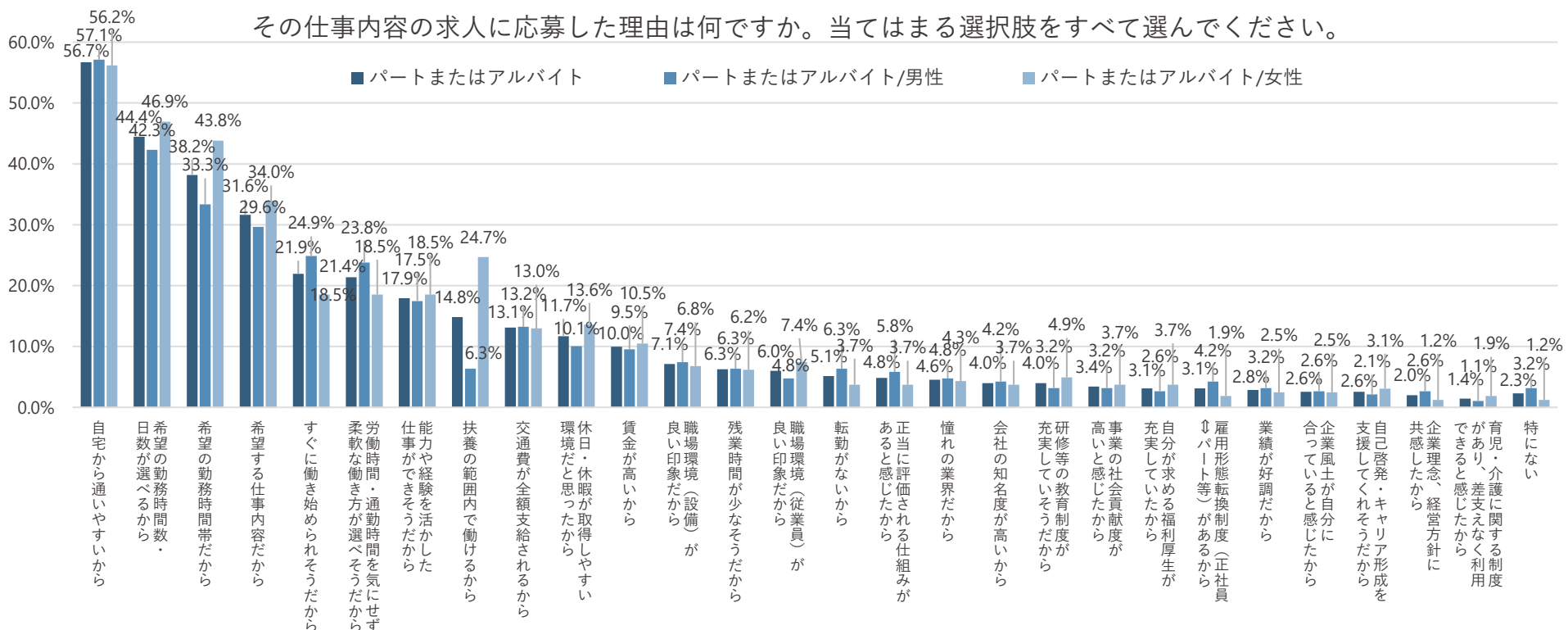


求人に応募した理由（パート・アルバイト希望の場合）

イーアイデムに掲載された求人に応募した、パートまたはアルバイト雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「自宅から通いやすいから」で56.7%、次いで「希望の勤務時間数・日数が選べるから」が44.4%、「希望の勤務時間帯だから」が38.2%となった。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「すぐに働き始められそうだから」が6.4pt、「労働時間・通勤時間を気にせず柔軟な働き方が選べそうだから」が5.3pt高くなった。選考過程が短く済む求人が好まれて、応募につながっているようだ。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「扶養の範囲内で働けるから」が18.4pt、「希望の勤務時間帯だから」が10.5pt高くなった。収入や働く時間帯が希望にかなった職場への応募が、男性よりも多いようだ。



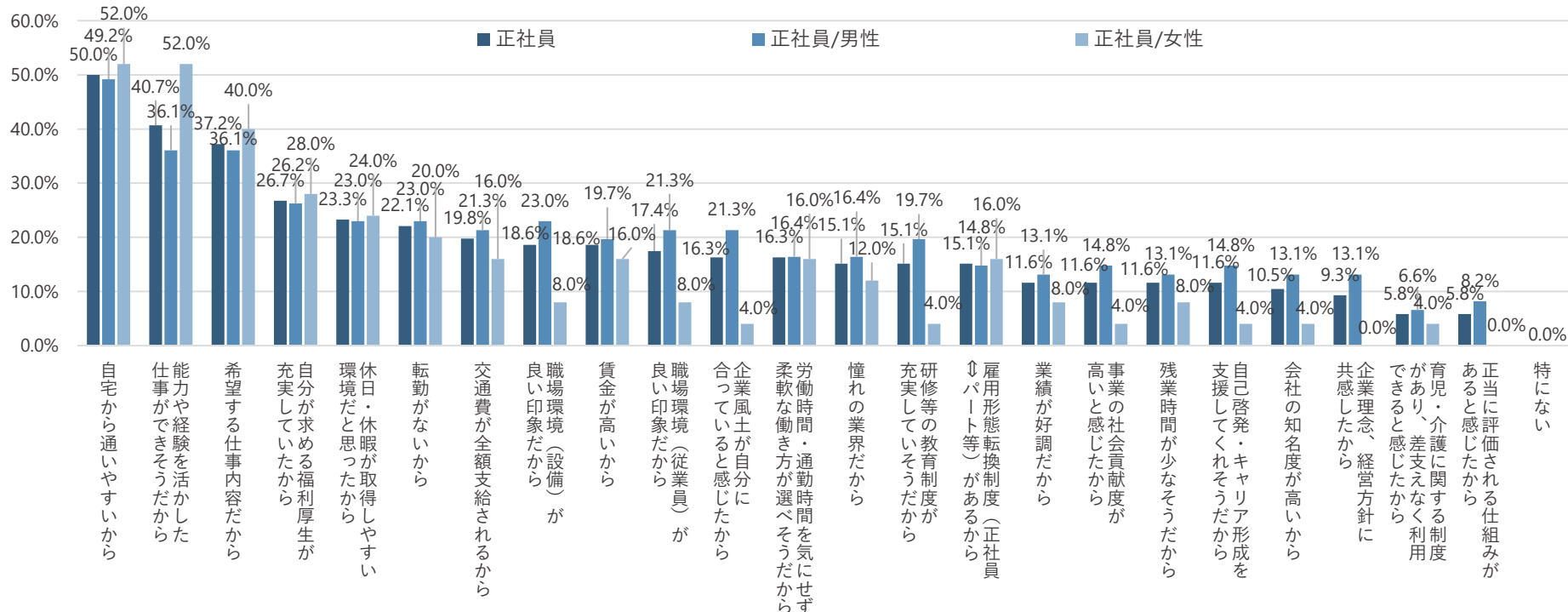
求人に応募した理由（正社員希望の場合）

イーアイデムに掲載された求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。多かったのは「自宅から通いやすいから」が50.0%、「能力や経験を活かした仕事ができそうだから」が40.7%、「希望する仕事内容だから」が37.2%となった。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「企業風土が自分に合っていると感じたから」が17.3pt、「研修等の教育制度が充実していそうだから」が15.7pt、「職場環境（設備）が良い印象だから」が15.0pt高くなった。職場での過ごし方を想像して応募につながってきている様子がうかがえる。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「能力や経験を活かした仕事ができそうだから」が15.9pt高くなった。これまでに培ってきた自身の力が発揮できる場所を探しているようだ。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



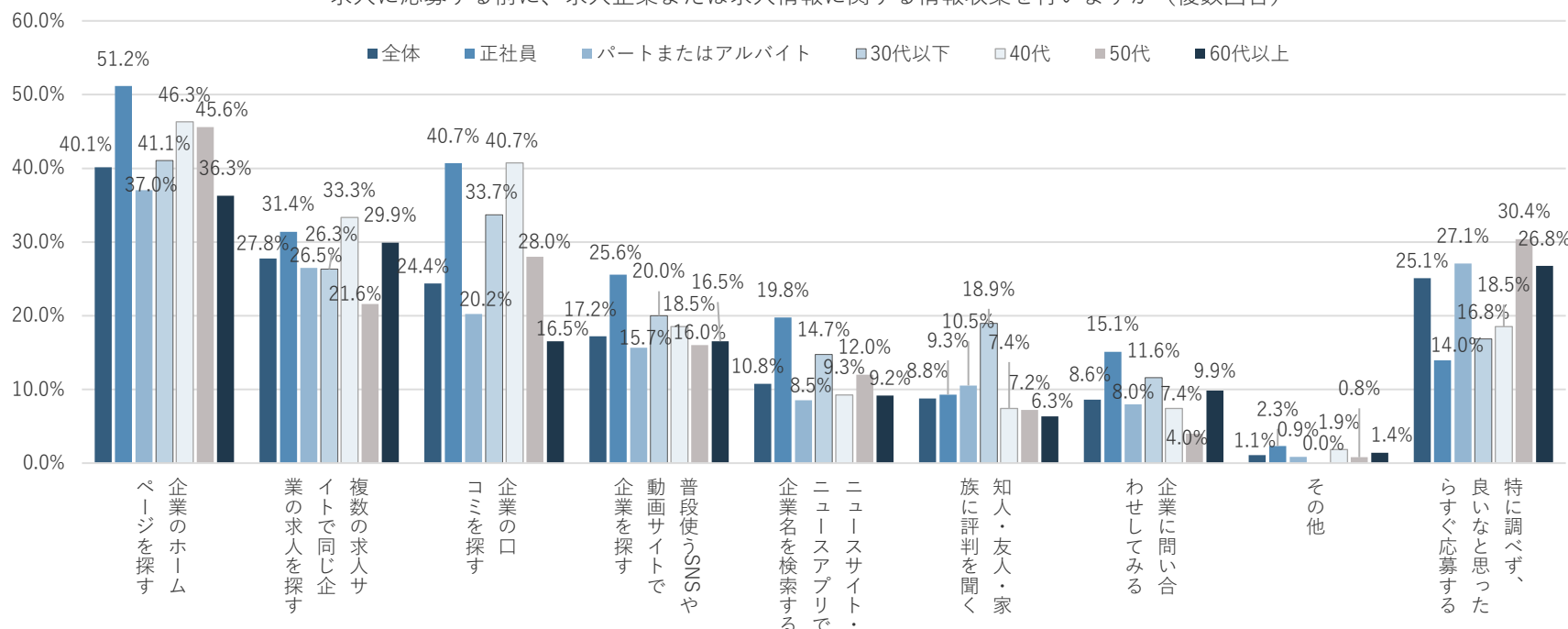
応募前の情報収集について

イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、求人に応募する前に求人企業または求人情報に関する情報収集をするかどうか聞いた（複数回答）。全体では「企業のホームページを探す」が40.1%で最多、次いで「複数の求人サイトで同じ企業の求人を探す」が27.8%、「企業の口コミを探す」が24.4%となった。「特に調べず、いいなと思ったらすぐ応募する」人は25.1%で、4人中3人は事前に何らかの情報収集をするようだ。

希望の雇用形態別にみると、「正社員」を希望する人では「企業のホームページを探す」が51.2%で、企業HPの必要性がうかがえる。「企業の口コミを探す」という意見も多かった（40.7%）。一方「パートまたはアルバイト」を希望する人では、「特に調べず、いいなと思ったらすぐ応募する」が27.1%で、正社員を希望する人より直感的に応募にうつることが多いようだ。

年代別にみると、「30代以下」では「知人・友人・家族に評判を聞く」が18.9%で、身近な人の声を頼りにしているようだ。「60代以上」では「企業の口コミを探す」が16.5%と低く、世間の評判などは気にしていない様子が他の年代より強い。

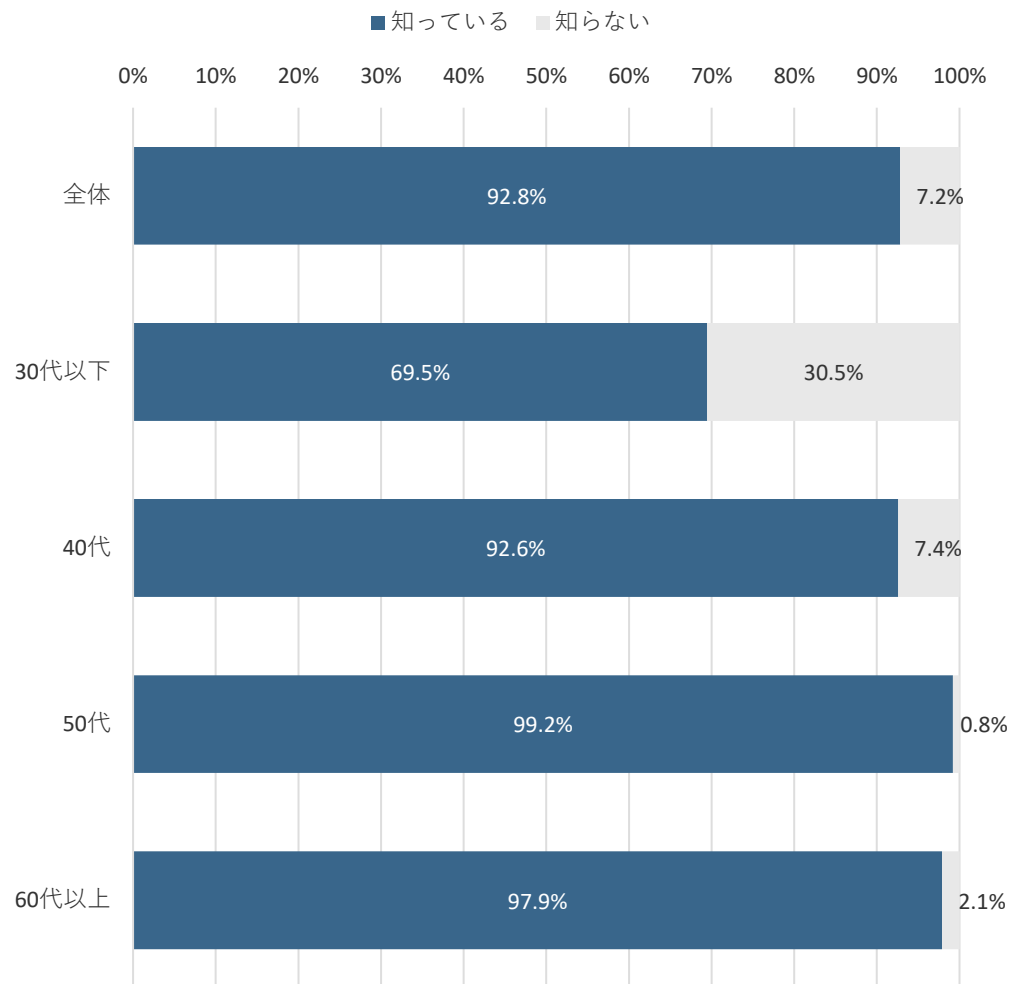
求人に応募する前に、求人企業または求人情報に関する情報収集を行いますか（複数回答）



イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、「闇バイト」という言葉を知っているかどうか聞いた。全体では92.8%が「知っている」と回答し、多くの人に認知されていることがわかる。

年代別にみると、「30代以下」では「知らない」が30.5%で、ほかの年代と比べると圧倒的に多い。10代や20代の若者では、日々の情報収集の手段として自身が好んで使うSNSに偏っている人もおり、行政や業界団体の啓発・周知活動などが届いていない可能性がある。一方で「50代」「60代以上」では「知っている」が95%以上とほとんどの人が認知している。これは報道などで耳にする機会が多く、また、闇バイトを含む特殊犯罪の被害を受けやすい側として、情報が入ってきているためではないかと考えられる。

あなたは「闇バイト」という言葉を知っていますか？



「闇バイト」に対して意識していること

イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、求人に応募する際に「闇バイト」に応募しないように気を付けていることはあるか、項目ごとに選択してもらった。

最も多く「当てはまる」が選ばれた項目は「応募先の情報が明確に記されているか見る」で81.9%、次いで「信頼できる求人サイトに掲載がある募集から仕事を探す」の81.4%、「匿名性の高い連絡手段に誘導されることがあれば、連絡を絶つ」の78.7%となった。

一方で「あまり当てはまらない」「当てはまらない」で多かったのは「SNS、コミュニティサイト、ネット掲示板等で出されている求人には応募しない」「特定のキーワードが入っている募集は応募しない」だった。アイデムが所属する全国求人情報協会をはじめ、各種関連団体では、求人の掲載にあたり必要なガイドラインを定めている。応募先の情報や仕事内容が不明確な求人には警戒するよう、求職者に引き続き啓発していく必要があるようだ。

求人募集に応募する際、「闇バイト」に応募しないように気を付けていることはありますか。

